

(1) 中学校1年生の各教科指導における課題

※小学校との「学びのつなぎ」での課題（5月2日）

	つなぎたい事項	課 題
国 語	<ul style="list-style-type: none"> <li>「本が好き」な生徒が今年が多い。図書室で本読みと言うと拍手して喜び、50分間、静かに読書することができる。</li> <li>きちんと正確に文字を書こうとする生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読の声が小さい(恥ずかしがって声を出さない)。</li> <li>話し合いの司会になりたがらない。リードしようとしめない(役割読みも成立が難しい)。</li> <li>ノートの使い方縦書きができない、ページが変わると方向も変えてしまう。</li> </ul>
社 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>六大陸、三大洋の学習の定着がよく地理の授業がスムーズである。</li> <li>学習意欲・態度が良好で、板書をしっかりノートに写せる者が多い。</li> <li>歴史の戦国時代の三人の武士(織田、豊臣、徳川)については、ほとんどの生徒が知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平安～室町、第1次世界大戦以降について定着が悪い。</li> <li>世界の国々について、都市名、地域名を国名として覚えている。</li> <li>都道府県の位置、特に中部地方以南の定着が悪い。</li> </ul>
数 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の意欲は大変高い。</li> <li>図形の面積や周の長さがきちんと求められる。</li> <li>み、は、じの計算が出来る。</li> <li>公式を覚えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分数の計算がよく分かっていない生徒が多い(通分、たし算、かけ算)。</li> <li>コンパス、定規等、道具の使い方が分かっていない。</li> <li>計算過程を書かない。(表現することが出来ない生徒が多くいる。)</li> </ul>
理 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>顕微鏡の操作、プレパラート作成の手順など良くできている。</li> <li>ノートに書く、レポートを作成するなど嫌がらずにやる。</li> <li>「理科好き」が多い、実験などを楽しみにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>火気の取扱い(ガスバーナー、アルコールランプ、マッチ)能力の差が大きい。</li> <li>班活動などの時、積極性、主体性が足りず、自分から手を出さず、見てるだけの生徒がいる。</li> <li>計算能力(小数、分数)が不十分である。</li> </ul>
音 楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気に歌うことができる。</li> <li>基礎知識を理解している生徒が多い。</li> </ul>	特になし
美 術	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学習してきたことを生かして制作する。</li> </ul>	特になし

保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元気に活動することができる。</li> <li>・ 運動が好きな生徒が多く、球技に対して積極的である。</li> <li>・ 積極的に発言できる。</li> <li>・ 目標に向かって取り組む生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団行動ができない。</li> <li>・ 各種目に対しての取り組みにムラがあり、特にマット運動を苦手とする生徒が多い。</li> <li>・ 肥満傾向の生徒が多い。</li> <li>・ 種目に応じた道具の扱いに慣れていない。</li> </ul>
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工具の取扱いは良好であり、破損が少ない。</li> <li>・ 調理器具、被服等に関する道具の扱いは良い。</li> </ul>	特になし
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気分、天気、曜日、月日の言い方など、導入時に使う基本的な英語が身に付いている。学区内の小中学校で同じ ALT の先生が指導してくれたことの効果である。</li> <li>・ 発音やコミュニケーション活動などの表現意欲が高い。英語に対する興味・関心が高い状態で入学している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書くことに対する抵抗が早い段階から現れる(アルファベットの大文字は書ける生徒が多いが、小文字になると不安な生徒が)。</li> <li>・ アルファベット(大文字・小文字)へボン式ローマ字の指導で小学校高学年段階で行うことができれば、中学校初期の英語のレベルアップが図れる。</li> </ul>
特別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶の仕方など生活面の指導が行き届いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達段階に応じたキャリア教育が不十分である。中学卒業後の進路について考えている生徒が少ない。</li> <li>・ 小学校段階から通常学級内における支援を必要とする生徒の支援計画を作成する必要がある。</li> </ul>